

全国大学書道学会

会報

10

平成24年(2012)
3月31日発行
全国大学書道学会

御挨拶

理事長 平形 精一

昨年三月十一日の東日本大震災の影響で開催を危ぶむ声が聞かれる中、茨城大学 齋木先生の御尽力で、平成二十三年度の本学会大会が成功裏のうちに終了しました。関係者各位に厚く御礼申し上げます。

研究発表は大学院生中心に八件(うち一件は当日欠席)、論文投稿一件がありました。掲載にあたっては一件毎に複数の査読委員の見解を尊重しつつ、規定に基づいて採否を決定いたしました。加筆修正を条件とした論文を含め、本誌にみるような結果となりました。不掲載分につきましてはその理由を御賢察の上、今後の研究に生かしていただければ幸いです。

森先生が中心となって企画・運営された「会員書作展」は、最近では珍しく六十名を越す出品となりました。近年微減傾向が続いていただけに喜ばしいことで、来年につながればと願わずにはいられません。論文だけに偏ることのない両面からの「書の本質」追究が本会の目的であり、他の学会には見られない本会の独自性でもあります。

もう一つの柱である「講演会」は昨年見送りになっただけに、今回は早くから講師の西林昭一先生の御承諾を得、一般参加を呼びかけて行われました。ただ時間の制限から「二王」前後の書相」について十分意を尽くされたかどうか

か多少悔いが残りましたが、中国書道史の実証的な研究の第一人者の警咳に接することができ、参加者は皆満足そうでした。

さて、昨年から懸案の「高校書道免許状用テキスト」は総会でもご報告いたしましたように、来春完成を目ざしていよいよ本格的に動き始めました。全体は書の古典図版編と理論編の二部構成で、古典は中国56点、日本23点を選定、理論編は、書の意義、表現と鑑賞、変遷、書論・論説、書道教育の理論と実践等の柱に参考資料も加え、A4版・オールカラー、全一七六頁から成っております。昨年中に会員の中より適任者40名に執筆をお願いし、二月末現在で八割を越す原稿が集まりました。ただ本書の特色であるヴィジュアルな紙面構成とは無縁の、活字だけの原稿や重複する内容等、これからの編集作業が正念場といえるでしょう。初校正を含め、会員の皆様には今後ともよろしくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

また、このテキストの目的は、タイトルでも明らかのように、高校の書道免許状取得のために必要な「書道(書写を含む)」等のすべての授業に対応できる情報を網羅することにあります。が、一般の書道愛好家に対しても十分親しんでいただけるよう、固くまた難しくなりすぎないよう配慮しています。さりとして平易を心がけすぎると高校の教科書のようになってしまいます。書に関する指導内容をいかに原理化し、表現力・鑑賞力を養うことができるような紙面づくりとするか、編集委員一同、試行錯誤する日々がしばらく続きそうです。



研究発表

全国大学書道学会

平成二十三年(茨城)大会を終えて

茨城大学教育学部 齋木 久美

平成二十三年(茨城)全国大学書道学会は、九月十八日に、茨城の水戸での開催となりました。会場となった茨城県立県民文化センターは、千波湖、偕楽園のそばに位置しています。東日本大震災により被害を受け、まだ使用できない施設もあり、ご不便をおかけしてしまうことになりましたが、全国から多くの皆様足を運んで下さり、無事、開催することができました。



大会会場



大会記念講演

当日は、開会式、総会に引き続き、研究発表、大会記念講演が行われました。研究発表は、午前の部は二会場で五件、午後は会場を一つにして二件あり、活発な討議もなされました。日頃の成果を、茨城大会でご発表下さいました発表者の皆様に感謝する次第です。

跡見学園女子大学名誉教授 西林昭一先生による「『二王』前後の書相―新出土史料を主にして―」と題する大会記念講演も盛会でした。一般参加自由という形式にさせていただきましたが、拝聴できてよかったです。

との声がありました。ご多忙のところ、講演をお引き受けくださった西林先生には、厚く御礼申し上げます。

その後、会場を移した懇親会は、終始和やかな雰囲気のもとになりました。

なお大会併催の会員書作展は会場内の県民ギャラリーに六十一点の作品が並び、多様な題材が、書としてさまざまな構成、技法によつて展開され、充実したものとなりました。

また郷土史研究家の吉成英文氏のご協力により、「水戸の文人の書」の展示も行いました。光圀や立原翠軒の書から、江戸期常陸地方の書の一端をご紹介できればと思いました。

会期中、関東地方には台風が接近しておりましたが、その影響をうけることなく、天候にも恵まれました。大会を支えてくださった多くの皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。



特別展示「水戸の文人の書」



会員書作展

全国大学書道学会 平成23年度（茨城）大会 次第

日 時 平成23年9月18日（日）
 会 場 茨城県立県民文化センター
 開催大学 茨城大学
 後 援 茨城県教育委員会／水戸市教育委員会

● 9:10 受付（参加費 会員4,000円 準会員〈大学院生〉2,000円）

● 9:30 開会式／総会（集会室1・2）総司会 事務局

1. 開会のことば	横田 恭三（跡見学園女子大学）
2. 開催大学あいさつ	茨城大学 齋木 久美 先生
3. 会長あいさつ	野中 浩俊（岐阜女子大学）
4. 理事長あいさつ	平形 精一（常葉学園大学）
5. 議事	議 長 竹之内裕章（佐賀大学）
1) 平成22年度事業報告 → 資料1	石井 健（東京学芸大学）
2) 平成22年度決算報告 → 資料2	柿木原くみ（相模女子大学）
3) 平成22年度監査報告	大橋 修一（埼玉大学）
4) 平成23年度事業計画（案）→ 資料3	石井 健（東京学芸大学）
5) 平成23年度予算（案）→ 資料4	柿木原くみ（相模女子大学）
6) 役員の変更について → 資料5	平形 精一（常葉学園大学）
7) その他	
6. その他	
1) 学会誌について	横田 恭三（跡見学園女子大学）
2) 次年度開催大学について	事務局
3) 新役員／新入会員紹介 → 資料6	事務局
4) 高校書道教員免許対応テキストについて	鈴木 晴彦（日本大学）
5) その他	
7. 閉会のことば	鶴田 一雄（新潟大学）

● 10:40～12:20 研究発表 午前の部

【第1会場（集会室1・2）】 司 会：大橋 修一（埼玉大学）

10:40～11:10

西川春洞の碑法帖研究について

新潟大学大学院 修士課程2年 伊豆名皓美

11:15～11:45

北齊隸書墓誌銘の起源 —相州に関連する人物を手がかりとして—

愛媛大学 教授 東 賢司

11:50～12:20

趙之謙の楷書における鄭道昭の影響について

新潟大学大学院 修士課程2年 波多野彩佳

【第2会場（集会室3・4）】 司 会：鈴木 晴彦（日本大学）

10:40～11:10

第二次世界大戦期の書壇の動向について —大日本書道報国会の実相を中心として—

東京学芸大学大学院 修士課程2年 山本 彩

11:15～11:45

菘翁の書美 —最晩年作を通して—

新潟大学大学院 修士課程2年 白石 一貴

● 12:20～13:40 休 憩

● 13:40～15:00 研究発表 午後の部

【集会室1・2・3・4】 司 会：横田 恭三（跡見学園女子大学）

13:40～14:10

古写経研究の新たな展開 —四分律卷第二十七断卷の実体—

茨城大学 非常勤講師 安 裕明

名古屋大学年代測定総合研究センター 小田 寛貴

龍谷大学古典籍デジタルアーカイブ研究センター 坂本 昭二

14:15～14:45

山田寒山に見る近代文人の動向

新潟大学 准教授 岡村 浩

● 14:45～15:00 分科会報告

● 15:00～15:20 休 憩

● 15:20～17:00 大会記念講演（小ホール）

演 題：“二王”前後の書相 —新出土史料を主として—

講 師：西林 昭一 先生（跡見学園女子大学名誉教授）

● 16:10 閉 会

《 常任理事会 》

日 時 9月17日(土) 18:30～20:30
 会 場 公立学校共済組合水戸宿泊所 ホテルレイクビュー水戸 4階 小会議室「なでしこ」

《 会員書作展 》

会 期 9月17日(土) 13:00～9月19日(月) 15:00
 会 場 茨城県立県民文化センター 県民ギャラリー

《 三学会合同懇親会 》

日 時 9月18日(日) 18:30～20:30
 場 所 公立学校共済組合水戸宿泊所 ホテルレイクビュー水戸
 会 費 7,000円(大学院生は3,000円)

資料1 平成22年度 全国大学書道学会 事業報告 → 承認

(平成22年) 5月17日	常任幹事会／三学会合同役員会(平成22年度旭川大会について)
5月中旬	旭川大会第1次案内作成
5月28日	旭川大会第1次案内、会員書作展出品要項、会員書作展図録、学会誌、会費払込用紙等 発送
7月10日	旭川大会研究発表応募締切日
7月28日	常任幹事会(旭川大会、発表者及び発表順、総会議事案、役員改選等 について)
8月10日	会員書作展作品送付締切
9月8日	旭川大会要項(第2次)、発表要旨集発送
9月10日	学会誌論文投稿申込締切
9月28日～10月3日	平成22年度会員書作展(三八ギャラリー)
10月1日	幹事会(旭川大会、役割分担確認、総会議事検討)、三学会合同懇親会
10月2日	平成22年度(旭川)大会(総会、研究発表)
11月20日	学会誌投稿論文受付締切
11月下旬～	研究発表論文査読
12月22日	常任幹事会(査読結果確認及び学会誌の発行について)
(平成23年) 1月～3月	学会誌編集

資料2 平成22年度 全国大学書道学会 決算報告 → 承認

A [収入の部]	
1) 平成21年度繰越金	1,042,233円
2) 平成22年度会費(202名)	1,400,000円
3) 旭川大会参加費	54,750円
4) 雑収入(預金利息)	111円
合 計 (A)	2,497,094円
B [支出の部]	
1) 旭川大会運営補助費	120,000円
2) 幹事会費(会議費:107,279円、交通費:180,180円)	287,459円
3) 通信費	123,465円
4) 印刷費(学会誌:262,500円 会報:105,000円)	367,500円
5) 事務費(消耗品費・会費払込手数料他)	61,516円
6) 予備費(東洋学・アジア研究連絡協議会22年度会費)	2,000円
合 計 (B)	961,940円
(A) 総収入 - (B) 総支出 = 残高	
2,497,094円 - 961,940円 = 1,535,154円(次年度繰越金)	

上記の通り報告いたします。 平成23年9月17日 事務局会計担当 柿木原くみ ㊞
 以上相違ありません。 平成23年9月17日 監 査 大橋 修一 ㊞
 同 岡本 直人 ㊞

資料3 平成23年度 全国大学書道学会 事業計画（案）→承認

(平成23年)	6月5日	臨時三学会役員代表者会（平成23年度茨城大会について）
	6月中旬～	茨城大会第1次案内作成
	6月14日	茨城大会第1次案内、会員票、会員書作展出品要項、学会誌、会報、等 発送
	7月4日	茨城大会研究発表応募締切
	7月9日	常任理事会（茨城大会、研究発表者及び発表順、総会議事案、高校書道教員免許対応テキスト等について）
		三学会合同役員会（茨城大会について）
	8月5日	会員書作展作品送付締切
	8月17日	茨城大会第2次案内、発表要旨集、発送
	9月8日	高校書道教員免許対応テキスト会議
	9月12日	学会誌論文投稿申込受付締切
	9月17～19日	平成23年度会員書作展（茨城県立県民文化センター 県民ギャラリー）
	9月17日	理事会（総会議事案、役員改選、研究発表、高校書道テキスト等について）
	9月18日	平成23年度茨城大会（総会、研究発表、記念講演／茨城県立県民文化センター）
		三学会合同懇親会（ホテルレイクビュー水戸）
	11月18日	学会誌論文投稿締切
	11月下旬～12月中旬	論文査読
	12月下旬	常任理事会（査読結果及び学会誌について）
(平成24年)	1月～3月	学会誌編集
	3月中～下旬	常任理事会／三学会合同役員会（茨城大会反省、24年度京都大会について）

資料4 平成23年度 全国大学書道学会 予算（案）→承認

A [収入の部]		
1)	平成21年度繰越金	1,042,233円
2)	平成22年度会費（202名）	1,400,000円
3)	旭川大会参加費	54,750円
4)	雑収入（預金利息）	111円
合 計 (A)		2,497,094円
B [支出の部]		
1)	旭川大会運営補助費	120,000円
2)	幹事会費	
	会議費	107,279円
	交通費	180,180円
3)	通信費	123,465円
4)	印刷費	
	学会誌・会報	367,500円
5)	事務費（消耗品費・会費払込手数料他）	61,516円
6)	予備費（東洋学・アジア研究連絡協議会22年度会費）	2,000円
合 計 (B)		961,940円
(A) 総収入 - (B) 総支出 = 残高		
2,497,094円 - 961,940円 = 1,535,154円（次年度繰越金）		

資料5 役員改選(案) → 承認 *印は新任、任期は平成24年4月から平成26年3月まで

参 与 加藤 達成 渡辺富美雄 吉田 繁 城所 正 小木 良一
 会 長 野中 浩俊 (岐阜女子大学)
 副 会 長 前田舜次郎 (元跡見学園女子大学教授)
 *竹之内裕章 (佐賀大学名誉教授)

理 事 長 平形 精一 (常葉学園大学)
 副理事長 横田 恭三 (跡見学園女子大学)
 常任理事 鶴田 一雄 (新潟大学) [学会誌編集担当]
 鈴木 晴彦 (日本大学) [学会誌編集担当]
 *小川 博章 (淑徳大学) [学会誌編集担当]
 柿木原くみ (相模女子大学) [事務局・会計担当]
 石井 健 (東京学芸大学) [事務局・庶務担当]

理事(地区担当)*各地区原則2名

[北海道] 辻井 義昭 (北海道教育大学名誉教授) *須田 義樹 (北海道教育大学)
 [東 北] 玉澤 友基 (岩手大学)
 [北 陸] 押木 秀樹 (上越教育大学) *角田 勝久 (新潟大学)
 [関 東] 森岡 隆 (筑波大学)
 [東 海] *木村 博昭 (愛知教育大学) *中根 安治 (岐阜女子大学)
 [近 畿] *萱 のり子 (大阪教育大学) *岡田 直樹 (京都教育大学)
 [中 国] 日比野貞勝 (広島文教女子大学) *谷口 邦彦 (安田女子大学)
 [四 国] 東 賢司 (愛媛大学) *森上 洋光 (四国大学)
 [九 州] *小原 俊樹 (福岡教育大学) *神野 雄二 (熊本大学)

理事(会務担当)*若干名

*杉山 勇人 (鎌倉女子大学) *見城 正訓 (静岡大学)
 監 査 大橋 修一 (埼玉大学) 岡本 直人 (元帝京大学講師)

資料6 平成23年度(旭川大会以後、茨城大会まで) 新入会員・準会員/退会・退会申出者

【会 員】 (4名)

安 裕明 (茨城大学非常勤講師)
 板橋 聡美 (昭和女子大学非常勤講師)
 岡田 直樹 (京都教育大学准教授)
 中根 安治 (岐阜女子大学准教授)

【準会員】 (11名)

山本 彩 (東京学芸大学大学院修士課程/橋本栄一) 近藤 和馬 (新潟大学大学院修士課程/鶴田一雄)
 木寺 将大 (福岡教育大学大学院修士課程/和田圭壮) 齋藤 之孝 (横浜国立大学大学院修士課程/青山浩之)
 登丸 昌子 (横浜国立大学大学院修士課程/青山浩之) 奥原 悠斗 (横浜国立大学大学院修士課程/青山浩之)
 大柄みや子 (横浜国立大学大学院修士課程/青山浩之) 徳廣 彩圭 (福岡教育大学大学院修士課程/服部一啓)
 井川恵津子 (福岡教育大学大学院修士課程/服部一啓) 福元 隆寛 (福岡教育大学大学院修士課程/服部一啓)
 熊川 南 (福岡教育大学大学院修士課程/小原俊樹)

【退会・退会申出者】

秋元 正成 吉澤 龍二 源川 進 山中映二郎

全国大学書道学会会員書作展

平成二十三年度

会期 平成二十三年九月十七日(土)～九月十九日(月)

会場 水戸市「茨城県立県民文化センター県民ギャラリー」

江上望青山憶旧
江上、葛一龍枇杷。
青木雪花(武蔵野大学)



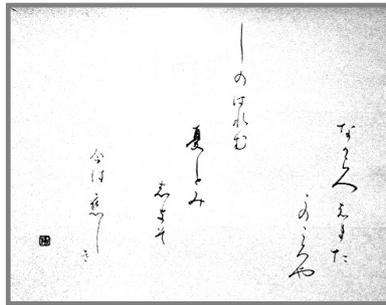
尾放哉の句
石井健(東京学芸大学)



欣求浄土
青山浩之(横浜国立大学)



藤原清輔朝臣の歌
海野陽子
(東京学芸大学附属国際中等教育学校)



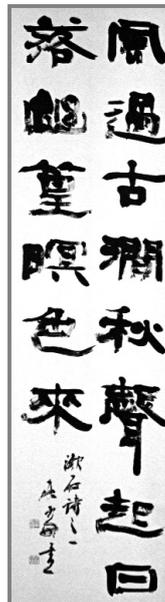
震盪播越
青木雪峰(静岡大学)



四海昇平一事無
井川恵津子(福岡教育大学大学院)



夏目漱石詩之一 赤平泰処(大正大学)



廿九日帖 荒金大琳(別府大学)

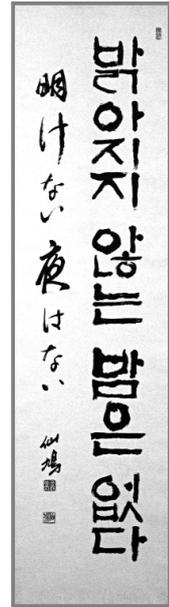


江総詩 伊豆名皓美(新潟大学大学院)



村の平和 井上悠(武蔵野大学大学院)

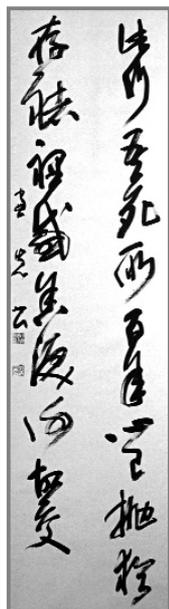




明けない夜はない。(ハンケル版本体) 大田仙鳩(四国大学)

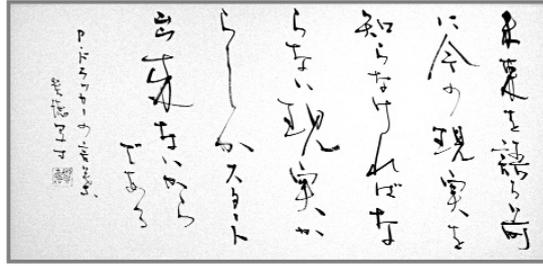


意自如 小川貴史(新潟高等学校)



吉田松陰先生詩 小倉窓寛(山口大学)

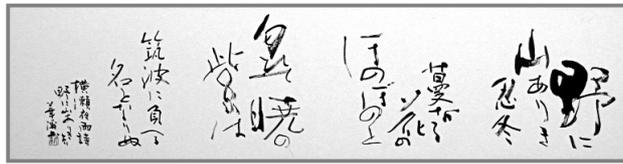
P・ドラッカーの言葉
大林貴徳(浜松市文化振興課)



四芸を繋ぐ
角田勝久(新潟大学)



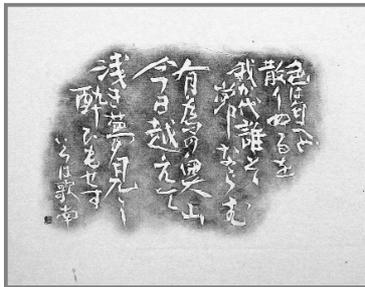
横瀬夜雨詩
斎木華溪(茨城大学)



啐啄之機
風岡五城(愛知教育大学)



いろは歌 熊川南(福岡教育大学)



風無門自開 加藤堆繫(東京学芸大学)



五字句 見城正訓(静岡大学)



芭蕉の句 近藤和馬(新潟大学)

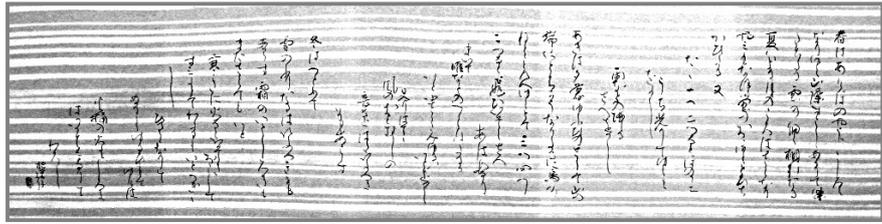


嘯風 加藤東陽(東京学芸大学)



琴は夜 酒は春 木寺将大(福岡教育大学)

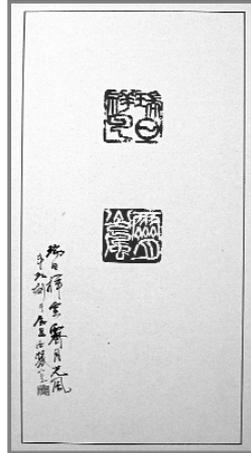
春はあけぼの(枕草子抄)
塩出桂風(安田女子大学)



文章自有真 清水文博(東京学芸大学附属竹早中学校)



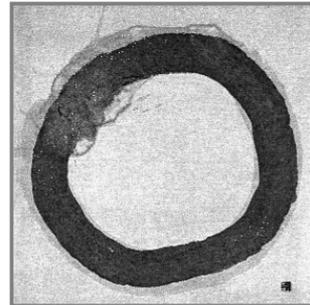
瑞日 雲、露月光風 小西斗虹(香川大学)



万葉集より 重友秀水(武蔵野大学大学院)



円相 田畑理恵(東京学芸大学大学院博士課程)



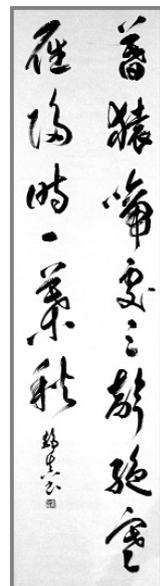
以和為貴(十七条憲法) 渋谷美登里(静岡大学大学院)



李白詩 白石玄雨(新潟大学)



漢詩 白鳥静真(立正大学)



無問自説 神野大光(熊本大学)



宋白仁詩より 杉崎光波(静岡大学)



ひじきの行列 杉山勇人(鎌倉女子大学)



七言句 滝口雅弘(静岡大学)



向日葵（金子みすゞの詩）
徳廣彩主（福岡教育大学大学院）



孤城
野中吟雪（岐阜女子大学）



是非非是
豊口和士（文教大学）



なでしこジャパン
林田俊一郎（尚綱大学）



天何言哉
長野竹軒（東京学芸大学）



地勢麗々
平形精選（常葉学園大学）



『庄子』の語
鶴田逸亭（新潟大学）



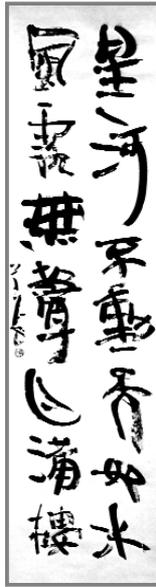
陶淵明詩
波多野彩佳（新潟大学）



具膳浪飯
塚本虚齋（和洋女子大学）



七言一句
土橋草石（比治山大学）



観自在
服部一啓（福岡教育大学）



和顔愛語
東南光（徳島大学）



白居易詩
樋口竹城（千葉大学）





『山家鳥虫歌』より
柳澤ももこ (横浜国立大学附属横浜小学校)



村上喜代子の句 廣瀬舟雲 (武蔵野大学)



絆 森山淡草 (熊本県立大学)



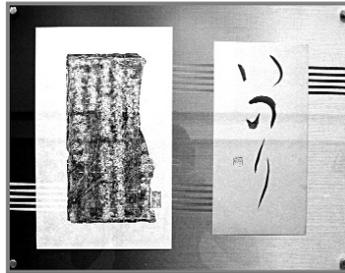
祈 本田容子 (目白大学)



徳寿 福元隆寛 (福岡教育大学大学院)



興 森哲之 (広島文教女子大学)



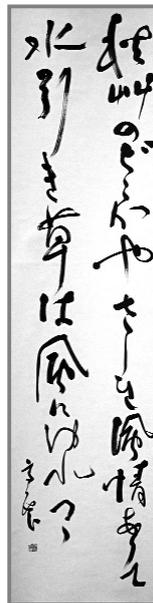
いのり 安裕明 (茨城大学)



従心所欲 横田閑雲 (跡見学園女子大学)



敬而遠之 森上洋光 (四国大学)



自詠歌「秋艸」 森高雲 (茨城大学)



波、そして娘の笑み 松本貴子 (大東文化大学)



坐邊師友 本多和宏 (千葉県立四街道高等学校)

徳廣 彩佳	福岡県	福岡教育大学大学院修士課程	平原 温子	東京都	武蔵野大学
利光 聖希子	福岡県	県立博多青松高等学校	廣瀬 裕之	東京都	日本習字教育財団
土橋 幸正	広島県	比治山大学	弘中 雄太	滋賀県	二松学舎大学
飛田 博昭	茨城県	県立水戸南高等学校	福島 一浩	東京都	和洋女子大学名誉教授
登丸 昌子	神奈川県	横浜国立大学大学院修士課程	福島 肇	新潟県	新潟大学大学院修士課程
富久 和代	徳島県	四国大学	福田 紗季	新潟県	奈良教育大学
豊口 和士	神奈川県	文教大学	福元 佐寛	大阪府	福岡教育大学大学院修士課程
豊田 嘉穂	福岡県	四国大学	福元 隆寛	福岡県	県立柏陽高等学校
直井 宗兒	奈良県	奈良教育大学	藤井 里恵	神奈川県	了徳寺大学
中川 恭一	千葉県	県立鎌ヶ谷西高等学校	藤井 礼子	千葉県	了徳寺大学
仲川 泰一	埼玉県	専修大学	平馬 孝三代	新潟県	新潟大学大学院
中川 寿郎	兵庫県	関西大学	法水 光雄	福井県	福井大学
中澤 功	静岡県	静岡芸術文化大学	細谷 恵志	千葉県	了徳寺大学
中島 好治	熊本県	県立牛深高等学校	本多 和宏	千葉県	了徳寺大学
中元 雅昭	岐阜県	岐阜女子大学	牧 愛子	東京都	元跡見学園女子大学
長沼 雅彦	東京都	日本大学	前田 舜次郎	東京都	青森県
長尾 秀則	秋田県	秋田大学	幕田 隆	千葉県	千葉大学
長野 秀章	京都府	仏教大学	増田 与久	静岡県	浜松学芸高等学校
名部 勝美	東京都	東京学芸大学	増永 久美子	熊本県	熊本県
成瀬 晴美	滋賀県	都立杉並高等学校	松浦 貢	埼玉県	埼玉県
西川 竜也	北海道	松前高等学校	松尾 志穂	埼玉県	長崎県
西田 雅子	静岡県	静岡大学	松清 秀一	埼玉県	埼玉県
西橋 靖雄	東京都	大阪教育大学名誉教授	松本 恵子	静岡県	鹿児島県
西山 明美	兵庫県	武庫川女子大学	丸山 仁志	広島県	広島大学
仁田 幸一郎	東京都	東京学芸大学大学院	丸山 香織	兵庫県	立命館大学大学院
野中 浩俊	新潟県	新潟大学名誉教授	圓山 由香	神奈川県	県立久里浜高等学校
萩 友江	新潟県	新潟大学	宮澤 政雄	徳島県	四国大学
橋本 栄一	広島県	安田女子大学	宮村 玄徳	山梨県	山梨大学
蓮見 行廣	東京都	東京学芸大学	宮脇 弦	静岡県	札幌龍谷学園高等学校
長谷川 千恵子	東京都	東京学芸大学	村井 清志	北海道	京都光華女子大学短期大学部
長谷川 昌弘	愛知県	県立茅ヶ崎高等学校	村山 昌央	北海道	北海道教育大学釧路校
波多野 彩佳	新潟県	愛知学院大学	村山 真美	新潟県	北海道教育大学釧路校
服部 一啓	新潟県	新潟大学大学院	森 常雄	茨城県	新潟大学大学院
濱田 瑞美	福岡県	福岡教育大学	森 哲二	茨城県	茨城大学
林田 俊一郎	神奈川県	早稲田大学	森岡 純二	広島県	広島文教女子大学
原田 博至	熊本県	尚綱大学	森岡 隆	茨城県	筑波大学
樋口 咲子	滋賀県	淡海書道文化専門学校	森上 洋光	徳島県	四国大学
東 賢司	群馬県	千葉大学	守田 弘	広島県	安田女子大学
日比野 貞勝	愛媛県	愛媛大学	森山 華那	静岡県	県立北筑高等学校
平形 精一	広島県	広島文教女子大学	森山 秀吉	福岡県	熊本県立大学
平田 光彦	静岡県	常葉学園大学	八木 宣諭	熊本県	熊本県立大学

安 裕明	茨城県	茨城大学	安原 亜悠	岡山県	岡山県
柳澤 ももこ	岐阜県	岐阜女子大学	柳田 さやか	神奈川県	神奈川県
矢原 徳子	広島県	広島県	山内 常正	静岡県	静岡県
山崎 真由美	東京都	東京都	山本 彩	東京都	東京都
山本 興	広島県	広島県	山本 祐司	東京都	東京都
湯澤 聡	広島県	広島県	横田 恭二	埼玉県	埼玉県
吉田 繁	奈良県	奈良県	吉川 美恵子	東京都	東京都
湖脇 貴子	埼玉県	埼玉県	渡辺 富美雄	神奈川県	神奈川県
和田 圭大	福岡県	福岡県	和田 幸大	東京都	東京都

平成二十四年四月一日現在
福岡教育大学 東京大学史料編纂所

新入会員推薦のお願いならびに入会申し込みについて

会員の皆様から、新入会員（準会員）をご推薦いただき、本会の一層の充実を図りたいと考えております。学会誌の最終ページの申込書をコピーの上、お申し込みいただきたくお願い申し上げます。

＜入会手続き＞

- * 「新入会員用原票（入会申込書）」に必要事項を記入の上、**事務局・会計担当（下記所在地）まで郵送またはFAX（042-743-4717）**してください。
- * 新入会員用原票（入会申込書）の受領ならびに入会年度年会費の払い込みを確認した後、常任理事会の承認を経て、総会で新入会員（準会員）の報告をいたします。
- * 年会費は、会員6,000円、準会員5,000円です。なお、大学院生（準会員）は、大学院修了後は、会員の資格として扱います。
- * 送金は、事務局・会計担当まで郵便振替払込用紙（赤色用紙）をご請求いただき、郵便振替にてお願いいたします。（用紙の通信欄に、「新入会員入会年度年会費」もしくは「新入準会員入会年度年会費」と明記してください。）
- * 払込先は下記の通りです。

■口座番号 00110-9-613810 **■加入者名 全国大学書道学会**
 〈事務局・会計担当〉〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
 TEL 042-749-1405
 相模女子大学学芸学部 柿木原研究室内 全国大学書道学会事務局（会計担当）

